



2/14

ドキドキワクワクえほんの世界

まなび創造館多目的室で、図書館開館40周年記念事業「おはなしカーニバル」が開催されました。

普段、図書館や図書室で活躍する読み聞かせボランティアグループが、この日のために準備した新作の大型紙芝居・大型絵本・パネルシアター・人形劇などを披露し、会場を訪れた約300人の親子連れらを夢の世界に誘いました。

2/15

発想豊かな地域づくり

「平成21年度愛知県地域づくり表彰」を受賞したことを報告するために、小牧市女性の会の稲垣孝子会長ら3人が市役所を訪れました。

この表彰は、女性の視点を生かした幅広い活動を継続してきたことが評価されたものです。

中野市長は「何事にも創意工夫が大切なので、見事な功績だと思います」と話し、受賞を祝福しました。



2/16

2連覇を目指して

第32回JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に出場する新山政樹(中京大中京高校1年)くんと妹の新山萌花(大城小学校4年)さんが、江口光広教育長を訪問しました。

第51回日本短水路選手権にも出場する政樹くんは「ジュニアオリンピックでは2連覇を、日本短水路選手権でも前回よりいい結果が出るように頑張ります」、萌花さんは「今回こそはいい結果を出したいと思います」と抱負を話しました。





2/18

夢はトップアスリート

第6回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会に出場する米川美彩妃(篠岡中学校2年)さんが江口光広教育長を訪問しました。

米川さんは「将来はソフトボール選手になれるよう、一生懸命頑張ります」と話しました。

2/20

環境への理解を深めよう

東部市民センターで、「こどもとおとなの環境会議」が行われ、約100人が参加しました。この会議は、子どもと大人が一緒になって身近な環境について考え、市民ぐるみで環境にやさしいまちづくりを推進することを目的に毎年行われています。

今年は、市内小中学校の学校版環境ISOの取り組みをパネル展示するとともに、桃ヶ丘小、篠岡中など8校の児童・生徒が実際の取り組みを発表し、意見交換などを行いました。



2/21

新鮮でおいしいね

駅前にぎわい広場(中央)とピアレ(古雅)で、合計6トンのホタテの直売会が行われ、買い求める市民で行列ができました。

この即売会は、市の友好都市である北海道八雲町の落部漁協の協力のもと、こまき市民活動ネットワークが交流とにぎわいを促進するため実施しました。また、直売会に先立ち、落部漁協からホタテ200kgが市内15の社会福祉施設に寄贈されました。

